

2月4日(日)

『第12回生徒研究成果合同発表会 (TSS)』

「第12回生徒研究成果合同発表会～The12th Toyama Science Symposium～」を東京都立戸山高等学校で開催しました（共催 工学院大学）。今年度は対面での発表を中心として行い、口頭発表会場のみオンライン視聴ができる形としました。海外から台湾斗六高級中学校の生徒や教職員総勢45人の参加をはじめ、全国からも多数の参加もあり、大いに刺激になりました。すべてのポスター発表と口頭発表に対して、専門家からの指導助言が受けられ、英語でポスター発表を行える機会を作ることが出来ました。

開会式はTSS戸山高校実行委員長の高瀬君の開会宣言にはじまり、主催校 高野宏校長、共催校 工学院大学副学長の野澤康先生、東京都教育委員会の小林様、台湾斗六高級中学校の羅校長先生や代表生徒からの挨拶がありました。

ポスター発表は12会場あり、高校生だけでなく中学生の発表もありました。口頭発表は8会場（すべての会場でオンライン視聴、3会場は英語発表、5会場は日本語発表）で行われました。

発表時間が被らずに設定できたため、口頭発表会場も満杯になっていました。



開会式 高野校長挨拶



ポスター発表セッション



口頭発表（対面&オンライン視聴）



口頭発表（英語）

他校の参加者、見学者が先生、生徒合わせて100名以上、講師や本校生徒、保護者その他関係者も含めると合計人数は400名を超えました。戸山高校の生徒達も講師や他校の生徒とたくさんコミュニケーションが取れ、質問やアドバイスも頂けました。このような経験は非常に有意義なものとなりました。